

自分の力を精一杯発揮し、みんな笑顔の学校をめざして



国道202号線とJR筑肥線に隣接する波多江小学校。児童数約780人は市内一の規模です。すぐ側には瑞梅寺川が流れ、川沿いの「清廉桜の並木道」は市内で有名な桜の名所です。

波多江小学校では「一人残らずみんな輝け!」という合言葉のもと、「自分の力を思いっきり出し切り、自信に満ちた笑顔いっぱい 학교に」という目標を掲げ、学校行事や活動に励んでいます。

5月は全校児童で「ゴミ0安全ピカピカ青春大作戦」に取り組みます。6年生は校区を5つのコースに分けて地域の危険箇所を調べ、災害時の備えとして安全マップを作成します。子どもたちが自分たちの校区の環境に目を向け、見つけた課題を考える良い機会となっています。また、子どもたちは地域に暮らす

一員として、地域をより安全に、大切にしたいという気持ちも高めています。

波多江小学校は昭和36年から沖縄県南城市立佐敷小学校との姉妹校交流を続けています。その一環で交流歌「友情の絆をいつまでも」を昼休みに流し、初夏の運動会では、毎年5年生が沖縄県の伝統芸能エイサーを踊ります。今後も交流や活動を大切にし、沖縄県の歴史や文化、平和への学びを深めます。

学習では、主体的に思いや考えを伝え合う力を育成するために外国語活動に力を入れています。互いに表情やジェスチャーを交えて、簡単な英語を使ったコミュニケーション活動を楽しむ子どもたち。「外国語って楽しい。上手になって世界中の人と話してみたい」と意欲が伝わってきます。



グループごとに作成した安全マップについて説明する子どもたち



運動会でエイサーを披露する5年生

